

## 平成23年度 第3回化学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

- I. 日時： 2011年10月13日（木）午後5時30分から午後9時
- II. 場所： 私立大学情報教育協会・事務局・会議室
- III. 出席者： 幅田委員長・及川副委員長・堀合副委員長・松山委員・武岡委員  
木村委員  
事務局：井端事務局長・森下主幹・松本職員

### 議事録承認

平成23年第2回議事録の確認が行われ、議事の流れに従った内容の再考が要求され、変更後承認することとなった。

### IV. 議事概要

- (1) 委員長開会挨拶
- (2) 資料確認
- (3) 局長より前回の検討内容に関する意見
- (4) 議事録担当選出
- (5) 授業モデル案の検討

### V. 議事内容

- 1. 今回の委員会で検討を開始する項目の確認が行われた。
- 2. 局長より前回委員会で検討した授業モデル案の文言について、もう少し具体的に理解しやすい内容に変更した方がよいのではとの意見が述べられ、以降よりイメージが湧きやすい文言を用いる方向で授業モデル案の検討を進めることになった。
- 3. 「授業のねらい」に関してもう少し踏み込んだ表現にした方がよいとの観点から、「2.1の授業のねらい」の内容を再度検討した。特に原子、分子の本質を理解するとはどのようなことかなど、内容を掘り下げ、学生の現状と問題点、それに対する対処を再度念頭においてねらいの再構築を行った。
- 4. 「授業の仕組み」に関し、プラットフォームの構築する意味を再度確認し、教員間、教員-学生間、学生間の活動に関する個々の意味付けをおこなった。また、局長より、内容の変更に伴い、到達度の確認の基準についての記述の必要性が挙げられ、それにかかる評価の基準が論議された。評価基準に関し、委員、局長より評価に関する実例が提示され、授業の仕組みの中に評価軸を設定するかについて議論された。評価については、以後の各項目の検討結果も勘案し、教員コンソーシアムによる活動も強調した表現へ最終

的に変更された。

5. 「2.2 ICT を用いた授業シナリオ」に関しては、前回の検討内容を確認し、特段の変更は行わなかった。
6. 「2.4 ICT を用いた学習内容・方法」に関しては、主に文言、意味の重複等を重点に修正した。特にグループ学習の項目に対しては、より表現を分かりやすくするため、文言の修正、また KJ 法については文言を補足した。また、③と④は重複部分が多いため、整理統合した。更に、評価方法に関連させ、達成度試験を実施する旨を⑤として新たに加えた。
7. 「2.6 ICT を用いて期待される効果」に関し、書かれた内容の意味を具体的な状況に照らせ合わせながら掘り下げ、文言の修正を行った。「②学習管理システム」に関しては、教員、学生間の生活時間のずれを考量し、オンデマンドによる学習に関する文言を加えた。また、2.4 の内容変更を受けて、項目⑤として、達成度評価に関する効果を追加した。項目③に関しては、2.4 の項目④の変更をうけ、文言を修正した。
8. 「2.8 ICT を用いた学習環境」に関しては、文章を簡潔化した。また、クラウド環境につき新しい項目を追加した。
9. 「3. 授業運営上の問題および課題」に関し、前項の内容変更を受け、文言の修正を行った。また、データベースに関してはクラウドを意識した文言に変更した。
10. 修正内容に関し事務局、委員会で再チェックの後、アンケート調査を実施し、その結果を基に次回委員会で再度検討することとなった。

以上